

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	冠動脈造影CTにおけるインジェクター装置間での静脈経路への空気混入量に関する研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2028 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で冠動脈造影CT 検査を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2018 年 7 月 1 日 から 2025 年 7 月 31 日 追跡期間：2025 年 9 月 30 日まで		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第一外科および循環器内科		
⑦ 研究責任者	氏名	寺中 悠	所属 放射線部
⑧ 使用する情報等	背景情報（識別コード・冠動脈造影CT検査施行時の年齢・性別・身長・体重・基礎疾患・予後）、CT検査情報（検査目的・撮影方法・被ばく線量・使用した造影剤の種類及び投与量や投与速度・使用したインジェクター装置の種類）、およびCT画像		
⑨ 研究の概要	造影剤を用いたCT検査では、インジェクターと呼ばれる装置を用いて患者様の静脈経路内に造影剤を投与して検査を行います。このインジェクター装置では検査目的ごとに対応した投与量や投与速度などを実現している反面、インジェクターチューブ内などに混入する極少量の空気が患者様の体内に流入することが報告され、この合併症として極稀に脳梗塞や心筋梗塞などに起因することが示唆されています。当院では、この空気混入を防ぐための機構が備えられた新たなインジェクター装置が稼働し始め、患者さん体内へ混入する空気量を減らし、これまで以上に安全な造影CT検査を行える可能性が期待されます。 本研究では、研究対象とする期間開始から追跡期間終了までの期間に従来のインジェクター装置を用いて冠動脈造影CT検査を行った症例および、新たなインジェクター装置を用いて冠動脈造影CT検査を行った症例を対象として、心臓内に混入する空気量を計測・比較し、インジェクター装置ごとの空気混入量を調査します。これにより、各インジェクター装置における空気混入防止機構の性能評価を行い、造影CT検査においての最適なインジェクター装置の選定を目的とします。		
⑩ 実施許可	実施許可日	2025 年 10 月 15 日	
⑪ 研究計画書等の関	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報		

覧等	及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	放射線部の奨学寄付金を使用します。			
⑯ 利益相反	ありません。また、当該研究に関連する企業からの寄付金の受け入れは ありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線部 担当者：寺中 悠			
	電話	0836-22-2631	FAX	0836-22-2638